

教科	学級活動(3)	学年	第5・6学年
----	---------	----	--------

題材名	到達目標(ねらい)	題材のまとまりの評価規準		
		よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
趣旨		・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や、活動を行う上で必要となることについて理解している。 ・自己の生活の充実・向上や自分らしい生き方の実現に必要なことについて理解している。 ・よりよい生活を築くための話し合い活動の進め方、合意形成の図り方、意思決定の方法などの技能を身に付けている	・所属する様々な集団や自己の生活の充実・向上のため、問題を発見し、解決方法について考え、話し合い、合意形成を図ったり、意思決定をしたりして実践している。	・生活や社会、人間関係をよりよく築くために、自主的に自己の役割や責任を果たし、多様な他者と協働して実践しようとしている。 ・主体的に自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとしている。
学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」 (3)なりたい自分になろう 題材例「中学校に向けて」	この1年でどのようになりたいかについて話し合い、希望や目標をもって生活できるようにする。当番の仕事の仕方を覚えたり、友達と一緒に仕事に取り組んだりできるようにする。学ぶことのよさや大切さについて考え、進んで学習に取り組めるようにする。	働くことや学ぶことの意義を理解するとともに、自己のよさを生かしながら将来への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分のよさを生かしたり、他者と協力したりして、主体的に活動している。	現在及び将来にわたってよりよく生きるために、自分に合った目標を立て、自己のよさを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

学級活動(2)(3)の時数の取り方について
○学級活動(1)・・・1・2年は22単位時間、3～6年は27単位時間
○学級活動(2)(3)・・・1・2年は15単位時間、3～6年は10単位時間
○学級活動(2)(3)は、
①実態や現状の把握(つかむ)⇒②必要性の実感(原因の追求)⇒解決方法等の話し合い(見つける)⇒個人目標の意思決定(決める)
という学習過程の1単位時間を基本とするが、朝の会、帰りの会、1/3、1/2単位時間等を設定し行うことも考慮して計画を立てる。
題材について
○学級活動(2)(3)の題材は、別紙「学級活動年間指導計画」に記載している。